

日七十月一



日刊新聞 日曜日 日休月一十月廿五 頁十五第 一頁四第 所指定 二十第 發行所 平谷政 石城郡赤井村 新島郡平谷町二 新いわき新聞社

常識講座

コンベンションは 禮儀とか報酬の意で コンベンションの慣習は たは因襲或は傳統の類 を云ふものとは異ふ、 コンベンションナリズム と云へば便利主義、御 都合主義、因襲的の事 座講識常

村長は決まらなかつたが 絶たれぬごたく

石城郡赤井村に於て助役に 前例の方部論が持上る

石城郡赤井村では去る十五日 村長及び助役の満期改選村會 を招集して「絶たれぬごたく」の調停案によつて議を進めた が村長の選挙だけは現職議事 野三郎氏が選決によつて全員 出席（十二名）から十一票（白 票一つ）を得て當選した次で 助役の推薦には前記菊地村議 案は田久彌七氏を推す筈であ つたが村長を小川村方面から 選んだ方部の關係で助役を南 赤井から推さねばならずと従 來の例を主張するものがあり

豊間村収入役の 満期改選村會

石城郡豊間村では収入役菊地 晴雄氏が今一月三十日で満期 となるので今十七日午前九時 後任につき村會を開いた

野崎縣議の舌禍 平消防組から告訴

市から給與される手當金に 横領の事實としてなし

平市會は事毎に不明朗を續け てゐるが市會議長である野崎 縣議が縣會にまで持参したる 消防組を難じた舌禍は遂に誹 毀罪として去る十四日同市消 防組幹部四氏の連署を以て平 區に告訴されるに至つた 其の告訴内容は野崎氏が過 ぐる縣會に於て市から給與 される消防手の手當を幹部 が横領してゐるか如く語 つたもので謔筆録にも明ら

商工會議所 設立協議

平商工會に於て 平市商工會では去る十五日午 後七時からマルトモホールに 役員會を開き商工會議所設立 に関する件及び應召商工業者

死んだ筈の件から 元日の馳走の手紙

小名濱町字古港出身 小野一等兵の實家へ

石城郡小名濱の古港出身小野 恒雄一等兵は兩角部隊下で江 南戦線に力闘中不幸病魔に冒 され十二月二日遂に死亡せる 旨去る十二日電に接したの で實家は母（さん）と 兄（太郎氏）外弟五人暮し の中に佛壇を飾り焼香などし てゐたところ最近當人から一 月元日の馳走を書いた陣中元 旦の手紙が届いたので十二月 二日に死亡してゐるものが元 旦の馳走を食する筈なく喜び の中に現地及び原隊に對し照 會中である

公葬

決せる五ヶ町村 戦死者の遺骨を迎へた石城郡 各町村では夫々公葬の準備中 であるが何れも舊年内に於て 執行を済ませられるらしく日取 決定したものは左記の如く である

▲十七日好間村同村小學校 に於て▲十九日錦村同村小 學校▲二十一日大浦村同村 小學校及神谷村同村小學校 ▲二十三日湯本町同村小學校に於て（以上）

神谷村の 戦死公葬

來廿一日小學校で 石城郡神谷村では同村出身佐

藤原久伍長の戦死に對し來る 等兵となり滿期除隊後縣試 二十一日午後一時小學校に於 て公葬を執行されるが同君は 上海戦線に轉戦中江蘇省陽宅 （老陸宅）に於て名譽の戦死を 成せられたもので平商業校出身の 職員として軍人分會の幹部に なるもので今年度の戦死で伍長に昇 進したものである

石城郡南の黒班病 應急対策協議會

今日植田町役場に八ヶ町村 技術員會を開催して

石城郡南に於ける甘藷主産地 に黒班病の發生を見たは既 報の如く同地方では非常な狼 狽に當つてゐるが今十七日午 後一時植田町役場に 錦、植田、勿來、川部、山 田、入道野、上道野、田入 八ヶ町村の技術員會を開き吉 成郡駐在農林技手出張被害面 積及び病毒發生現地等につき 對策の協議をなしたが同發見 が當業から氣付たものでなく 販賣して顧客から苦情が出て 初めて判つただけに相當の困 難があり唯苗だけは主として 同病發生地の干葉から購入せ るものなので被害程度の輕重 は兎も角或は擴範圍に放つて

自ら望んだ指定に 玉川村の不仕鱈

經濟更生或は取消か

石城郡玉川村は村議及び消防 幹部員其他にも各派の色彩が 濃厚で對立抗争が續いてゐる ので此の融和統一を圖る爲め 經濟更生の指定を自ら望み昨 十二年度同指定村となつたが 因襲の不一致から果村の更生 運動を見る能はず昨十二年十 月末日までに縣に通告すべき によつては指定を取消される

戦地 戦禍の中迎新年

平市出身 坂本一一一 君國に身を捧げる

謹啓、戦禍の中にも新春を 迎へ目出度申候、其後 各位益々御健在にて邦家の 爲め御盡力下され候こと誠 に慶賀の至りに存じ奉り候 今や聖戦も果敢なる皇軍の 活躍により神速に其の進撃 の跡を示し國威宣揚につと め且つまた向後の勝戦に備 ふべく意氣益々旺盛に場之 御玉章拜誦仕候、小生應 召の途に際し御懇篤なる御 祝辭並に慰問狀誠に有難く 拜受仕候、るくとし

すまされてゐたものであると 平市では明十八日午後一時か ら水道委員會を開催新豫算に つき協議の筈だが明年度は仕 事は別して増さないが諸材料 の騰貴により今年度に比し約 六百圓ほど増加の模様である

平水道委員會 軍人會の活動資金にニユース會

石城郡赤井村に郷軍人分會で は事業資金造成の爲め來る二 十六日同村小學校に晝夜二回 軍事ニユース大會を催す筈で あるが一般から豫期以上の賛 意を迎へてゐると

坑夫落盤死 逃走酌婦に 懸賞百圓

石城郡赤井村の畑子澤一五 居住同村山口炭礦採炭夫宇都 野實（三）は去る十五日午後四 時頃坑内作業中落盤のため重 傷を負ひ平市安齋醫師の手當 を受けたが午後九時四十分途 に絶命した

逃走酌婦に 懸賞百圓

石城郡勿來町の酒井字出倉幸 壽の長女篠原は（三）は去る 四日午前十時頃茨城縣助川町 の榮町料理店初榮と皆川は づ方の酌先から前借六百圓 を踏み倒して逃走したがはる は當日始と稱する三十三位の 女に訪ねられ際に荷物を置い て來たから手傳つて呉れと誘 ひ出され其まゝ行方不明とな つたので途中に於て三十二 三才の男と同伴してゐる事實 もあり計画的の詐欺と云はれ てゐる懸賞百圓附で今十七日 抱主初榮から平署に捜索方を 願出た

大義務に有之候へば必ず赤 心を盡し君國の爲めに捧げ たく存じ居り候、何卒時折 は御書面を賜はり御聲援下 され度御願申上候、尙ほ留 守中は何かと御迷惑相掛り 候哉も知れず候へども何卒 よろしく御願申上候、右取 敢へず御禮等々御返事まで 幾多の英靈を偲びて年頭の 御挨拶御遠慮致候、悪から ず御容赦下され可候、

今晩は北西の風、晴 明日は南西の風、晴後曇 （小名濱觀測所）

